



志中の風

『自主』『友愛』『奉仕』

令和3年2月25日発行

チャンス(Chance), チャレンジ(Challenge), チェンジ(Change)

校長 長元 武彦

「一月は行く(往ぬる)」「二月は逃げる」「三月は去る」と言われます。早いもので、本年度もあと1ヶ月余りとなりました。特に3年生は、卒業の日まで1ヶ月を切り、本校での学びの最終段階に取り組んでいるところです。本校は、生徒たちの不断の努力と、それを支える保護者、教職員、市当局、そして地域の方々のご協力をおもちゃまして令和2年度を終えようとしています。誠にありがとうございます。特に本年度は、コロナ禍にもかかわらず、皆様の物心両面でのご支援を賜り、何とか学校を運営できました。重ね重ねではありますが、御礼申し上げます。

さて、「チャンス(Chance), チャレンジ(Challenge), チェンジ(Change)」という言葉を知ったことはありますか？これは、5月の「今日の一言」で生徒たちに紹介した言葉ですので、生徒は聞き覚えがある言葉であることを信じています。

私たちは、往々にしてやるべきことを「後回し」にしてしまいがちです。その後「あの時やっておけばよかった」と後悔するのもよくあることです。大きなチャンスをつかむには、普段から身近なチャンスをつかむ訓練が大切です。その訓練とは、「気付いたらすぐ行う」「気付いたらすぐに止める」などという行動と決断力を行うことです。「チャンス(Chance)」は自らつかみとりましょう。

「チャレンジ(Challenge)」とは、失敗を恐れずに自分から進んで挑戦することです。その経験が自分を成長させます。

「チェンジ(Change)」とは、経験したことで自分を良い方向に変えていくことです。

ピンチは「危機」で、チャンスは「好機」です。そして、チェンジは「変換・変革」で、チャレンジは「挑戦」です。ピンチの壁は自分の心の壁でもあります。ピンチを自分を成長させる好機、今までと違うやり方で再挑戦する好機と考え、ピンチ(危機)から逃げずに、挑戦してみましょう！きっとチェンジ(成長)できるはずですよ。

私たち大人も、「チャンス・チャレンジ・チェンジ」の精神で努力したいものです。そして、新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされている今の時代だからこそ、子どもたちに自らの変革をもたらす努力をさせるべく、後ろ姿で範を示しましょう。



生徒会「ピンクシャツデー」の取組

生徒一人一人がいじめについて考え、許してはならないという強い意志のもと「どんないじめも許されない」という発信をすることで、いじめを許さない環境づくりをすることを目的として生徒会主催による「ピンクシャツデー」の取組をしています。

全校生徒は、2月4日(木)にTシャツ型のピンク色の紙にメッセージを書きました。そのメッセージは、2月24日(水)～3月2日(火)靴箱付近に掲示します。掲示期間が終わっても、3月25日(木)の修了式まで各学級に掲示します。今後も、いじめなどの人権侵害を生み出さないよう、三者一体で取り組んで参りましょう。

第2回学校保健委員会(講演会)開催

2月18日(木)に標記の会が開催されました。今年度のテーマ「感染症予防と健康な体づくり」についての反省や、生徒会保体部からの「アンケート調査」の結果報告がありました。

スクールカウンセラーの「倉ヶ崎比奈子」先生による「子どもの育ちを支える」と題した講話は、自己肯定感を高める関わり方についての内容でした。思春期は自分の気持ちを外に出すのが難しい時期であり、保護者が子どもと繋がりをもち続け、受容的態度で話を聞くことが大切である、ことなどを学ぶことができました。



新一年生(小6児童)への入学説明会

1月25日(月)の午後、本校へ進学を予定している小学校6年児童を対象とした入学説明会を実施しました。これは、入学前に中学校の雰囲気を味わったり、中学校での授業を体験したりすることで、中学校での学習に対する不安を取り除き、目標をもって学習しようとする意欲をもたせることなどを目的として、例年この時期(尚志館高校入試日)に実施しているものです。

本校区内の6年生が一堂に会し、授業や入学説明会と一緒に参加することによって、中学校の雰囲気に慣れ、他小学校の児童と交流することができました。5時間目の授業は全児童を4クラスに分け、本校教師による体験授業でした。

児童が授業を体験している間、保護者の皆様には、中学校生活について、給食費の納入方法、スマホなどに関する情報や注意点などの話をしました。

6時間目の時間帯は、本校生徒会の生徒による「中学校生活についての説明」などを行いました。しかしながら、児童、保護者と一緒に新たに本校に入学する児童や保護者の皆様につきましては、不安もあるかと思えます。不明な点などございましたら、学校にお問い合わせください。



「志」講話 ～ 薩摩剣士隼人・夢を見るチカラ～

2月1日(月)に全校生徒を対象とした『志』講話を実施しました。本年度は、薩摩剣士隼人の監督兼代表理事の外山雄大氏を講師にお招きしました。外山氏は「薩摩剣士隼人・夢を見るチカラ」という演題で、これまでの体験を基にした興味深いお話をしてくださいました。「小さい頃から戦隊物やウルトラマン・仮面ライダーが好き」との話から始まり、これまで外山氏が取り組んできたことを聞くことができました。

その中で、2010年から続いている薩摩剣士隼人は衣装制作・声優・漫画など関係するすべてが鹿児島島の素人たちで作られていること、鹿児島島のことをPRすべく構成されていること、日本だけでなく海外にも鹿児島島をPRしていることなどで多くの人とつながることができたこと、などを話され、生徒たちは聞き入っていました。

外山氏は、最後に今の「好き」を大切になら志を高く掲げることで夢は叶うと熱弁されました。以下は、生徒の感想の一部です。

○ これから生きる上で、職業の概念というのは形を変えていくと思います。その中で、自分自身の信念を持つことが、これから生きていく糧になると思います。今回は本当にありがとうございました。

○ 誰もが知っているであろう薩摩剣士隼人を作られた方とお目にかかれるなんて有り難かったです。私はまだ夢がありません。ですが、これからじっくり考えて、自分の就きたい仕事を見つけていきたいです。



花壇の応援！生徒たちに贈る言葉

毎年、寒い時期にあわせて、校舎B棟横の花壇に季節を彩る葉ボタンなどを定植しています。今年も学校助手が「生徒たちに贈る言葉」を花文字で表現し、生徒へ応援メッセージを送っています。

今年は、コロナ禍や入試の試練に打ち克つことを願い『コロナ、入試、全てに打ち勝ち、最後は心から笑顔になれ！』と願いを込めた花文字としています。生徒の笑顔が増えることを、心から祈っています。



【3月の主な行事予定】

※ 現時点での予定です。諸状況により変更があり得ますので、あらかじめご了解ください。

9日…学年集会、公立高校入試(1日目)、1年クラスマッチ
10日…公立高校入試(2日目)、2年クラスマッチ

志布志に伝わる「きりり輝く三つの教え」

～ 『志アップ 子育て手帳』から～

「煮しめ」の教え

- ・材料や味付けは家庭で異なる(伝統)
- ・一人一人のよきの融合(個とまとまりを大事にする)

→ → → 個性の伸長

「つきあげ」の教え

- ・材料を練り上げて作る
- ・練り上げることにより味がよくなるのととも形が変わる(味のある人づくり)

→ → → 確かな変容

「にぎりめし」の教え

- ・にぎる人の温かみ、米一粒も疎かにできない
- ・周囲の人への感謝(温かい感謝の気持ち)

→ → → 感謝の心

11日…3年クラスマッチ
15日…卒業式予行・卒業式準備
16日…第74回卒業式
20日…春分の日(祝日)
25日…修了式、離任式